

# 令和5年度 弘前市優良建設工事表彰工事集

令和4年度に完成した請負金額500万円以上の工事156件から、「弘前市優良建設工事表彰基準」に基づき、9工事が選定されました。

受賞会社は15社、受賞技術者は当該工事を担当した17名が他の模範となるものとして、選定され表彰されたものです。

## 令和5年度 弘前市優良建設工事表彰受賞者一覧

ページ	工事名称	受注者	主任(監理)技術者	工事種別
3	令和3年度 弘前文化センター長寿命化改修工事 (電気設備工事)	張山・日善・弘都特定建設工事共同企業体 張山電気 株式会社 代表取締役 張山 久次	木村 建一	設備部門 (電気)
		張山・日善・弘都特定建設工事共同企業体 株式会社 日善電気 代表取締役 相馬 弘竹	芹川 洋一	
		張山・日善・弘都特定建設工事共同企業体 株式会社 弘都電気 代表取締役 内藤 美香	佐藤 直輝	
5	令和3年度 弘前文化センター長寿命化改修工事 (建築工事)	南・堀江・吉川建設工事共同企業体 株式会社 南建設 代表取締役 南直之進	三上 弘城	建築部門
		南・堀江・吉川建設工事共同企業体 株式会社 堀江組 代表取締役 堀江 敏志	赤平 健	
		南・堀江・吉川建設工事共同企業体 吉川建設 株式会社 代表取締役 吉川 功一	白川 浩昭	
7	令和3年度 弘前文化センター長寿命化改修工事 (機械設備工事)	弘水・東弘・大伸特定建設工事共同企業体 株式会社 弘前水道 代表取締役 阿保 秀樹	阿保 美鈴	設備部門 (機械)
		弘水・東弘・大伸特定建設工事共同企業体 東弘電機 株式会社 代表取締役社長 須藤 朗孝	加藤 陽一	
		弘水・東弘・大伸特定建設工事共同企業体 株式会社 大伸管工業所 代表取締役 奈良岡隆人	木村 潤哉	
9	令和3年度 老朽管更新事業 新町外地区配水管布設替工事	東弘電機 株式会社 代表取締役社長 須藤 朗孝	木村利喜夫	上下水道部門
11	令和2年度 史跡弘前城跡本丸石垣東面 (北側)積直し工事	大林・南・嶽開発特定建設工事共同企業体 株式会社 南建設 代表取締役 南 直之進	沼田 修	土木舗装部門
		大林・南・嶽開発特定建設工事共同企業体 嶽開発 株式会社 代表取締役 三上 千春	川村 毅	
13	令和3年度 常盤野1号線道路改良工事	株式会社 前山組 代表取締役 前山 武二	對馬 大輔	土木舗装部門
15	令和3年度 鷹揚公園春陽橋高欄等更新工事	猪股建設 株式会社 代表取締役 前田 伸子	大高 憲記	
17	令和4年度 高野橋橋梁補修工事	佐藤惣・東洋重機建設工事共同企業体 株式会社 佐藤惣建設 代表取締役 佐藤 隆	木村 照之	土木舗装部門
		佐藤惣・東洋重機建設工事共同企業体 東洋重機 有限会社 代表取締役 町田 啓倫	町田 英巳	
19	令和3年度 水道施設整備工事 桶屋町地区 配水管布設替工事(ゼロ市債)	興産設備工業 株式会社 取締役社長 工藤 昭範	菊池 智	上下水道部門
	9工事	15社	17名	5部門

令和5年度 弘前市優良建設工事表彰式記念撮影  
(受賞会社 15社)



令和5年度 弘前市優良建設工事表彰式記念撮影  
(受賞技術者 17名)



## 設備（電気）部 門

工 事 名 称	令和3年度 弘前文化センター長寿命化改修工事(電気設備工事)
工 事 場 所	弘前市大字下白銀町19番地4
受 注 者	張山・日善・弘都特定建設工事共同企業体
監 理 技 術 者	張山電気株式会社 木村 建一
監 理 技 術 者	株式会社日善電気 芹川 洋一
主 任 技 術 者	株式会社弘都電気 佐藤 直輝

- ・ 工 事 期 間            令和3年6月30日 ～ 令和4年12月28日
- ・ 請 負 金 額            515,592,000 円
- ・ 工 事 内 容

弘前文化センターは、昭和56年の開館以来40年近く経過し、施設・設備の老朽化が進行していたことから、令和元年11月に策定・公表した弘前市文化施設個別施設計画に基づき、老朽化が著しい電気設備、空調設備、給排水設備の更新を行ったものです。

また、バリアフリーに配慮した施設とすることで、使用するすべての人が快適で安全に利用することができる施設を目指す「①快適性及び安全性の向上」、高効率な機器への更新や使用する燃料の見直し、照明器具のLED化などによりエネルギー使用量を減らし、環境負荷の低減を図る「②環境負荷の低減」、文化芸術や生涯学習、地域活動などの各分野においてニーズが多様化していることから、各部屋の配置や機能を見直し再配置することで、市民の活動ニーズに広く応えられる施設を目指す「③市民の多様な活動ニーズへの対応」を整備の基本方針として長寿命化改修を実施したものです。

### 【電気設備工事概要】

- ①トイレ照明の人感センサー点灯化、多機能トイレへの非常用押しボタンの新設
- ②照明器具のLED化
- ③工作室にリーラーコンセントを新設

### 【電気設備工事内容】

- |                        |                      |
|------------------------|----------------------|
| ・ 電灯設備改修            1式 | ・ 情報表示設備改修        1式 |
| ・ 動力設備改修            1式 | ・ 非常放送設備改修        1式 |
| ・ 避雷設備改修            1式 | ・ 中央監視設備改修        1式 |
| ・ 受変電設備改修        1式    | ・ 監視カメラ設備改修     1式   |
| ・ 発電設備改修            1式 | ・ 火災報知設備改修       1式  |
| ・ 構内交換設備改修     1式      |                      |

### 案内図



着工前（地下1階電気室）



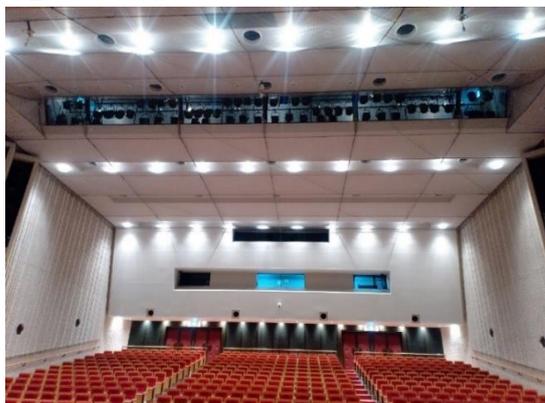
完成（地下1階電気室）



着工前（1階大ホール）



完成（1階大ホール）



①快適性及び安全性の向上  
（トイレ照明の人感センサー点灯化）



②環境負荷の低減 照明器具のLED化  
（小ホールLED照明器具へ改修）



②環境負荷の低減 照明器具のLED化  
（第3会議室LED照明器具へ改修）



③市民の多様なニーズへの対応  
（工作室にリーラーコンセントを新設）



担当：建築住宅課設備係  
竹ヶ原 誠也（内線932）

## 建 築 部 門

工 事 名 称	令和3年度 弘前文化センター長寿命化改修工事(建築工事)
工 事 場 所	弘前市大字下白銀町19番地4
受 注 者	南・堀江・吉川建設工事共同企業体
監 理 技 術 者	株式会社南建設 三上 弘城
監 理 技 術 者	株式会社堀江組 赤平 健
主 任 技 術 者	吉川建設株式会社 白川 浩昭

- ・ 工 事 期 間 令和3年6月30日 ～ 令和4年10月31日
- ・ 請 負 金 額 793,122,000 円
- ・ 工 事 内 容

弘前文化センターは、昭和56年の開館以来40年近く経過し、施設・設備の老朽化が進行していたことから、令和元年11月に策定・公表した弘前市文化施設個別施設計画に基づき、老朽化が著しい電気設備、空調設備、給排水設備の更新を行ったものです。

また、バリアフリーに配慮した施設とすることで、使用するすべての人が快適で安全に利用することができる施設を目指す「①快適性及び安全性の向上」、高効率な機器への更新や使用する燃料の見直し、照明器具のLED化などによりエネルギー使用量を減らし、環境負荷の低減を図る「②環境負荷の低減」、文化芸術や生涯学習、地域活動などの各分野においてニーズが多様化していることから、各部屋の配置や機能を見直し再配置することで、市民の活動ニーズに広く応えられる施設を目指す「③市民の多様な活動ニーズへの対応」を整備の基本方針として長寿命化改修を実施したものです。

### 【建築工事概要】

- ①大ホール特定天井改修、バリアフリー化、1階授乳室新設、3階多機能トイレ新設等
- ②断熱性の向上等
- ③会議室壁マグネットシート設置、3階多目的活動室新設等

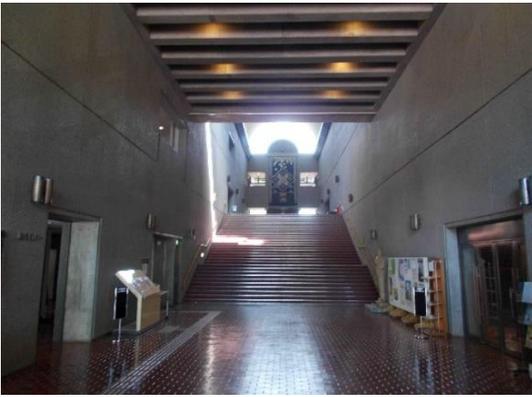
### 【建築工事内容】

- ・ 躯体鉄筋露出箇所の補修 1式
- ・ 大ホール特定天井改修(天井落下防止対策ネット張り) 1式
- ・ 建具更新(アルミサッシの撤去・新設等) 1式
- ・ 内部改修(各室内装改修、大ホール座席修繕等) 1式
- ・ 外部改修工事(湾曲屋根防水改修、塔屋外壁外部改修等) 1式
- ・ 外構工事(東側駐車場空調室外機基礎等) 1式

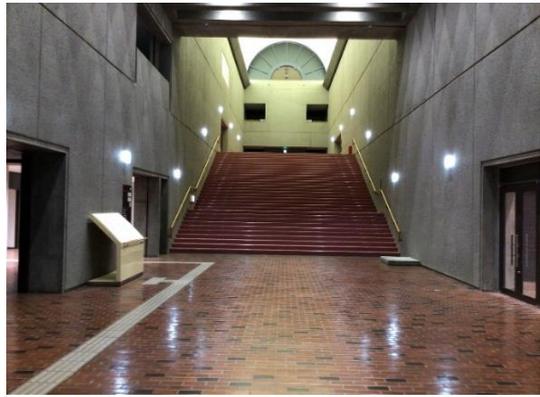
### 案内図



着工前(1階エントランスホール)



完 成(1階エントランスホール)



着工前(1階大ホール)



完 成(1階大ホール)



①快適性及び安全性の向上  
(1階授乳室新築)



②環境負荷の低減 断熱性の向上  
(アルミ樹脂複合断熱性サッシへ改修)



③市民の多様なニーズへの対応  
(会議室壁マグネットシート設置)



③市民の多様なニーズへの対応  
(3階多目的活動室新設)



担当：建築住宅課営繕係  
齊藤 将寿 (内線959)

## 設 備 (機 械) 部 門

工 事 名 称	令和3年度 弘前文化センター長寿命化改修工事 (機械設備工事)		
工 事 場 所	弘前市大字 下白銀町19番地4		
受 注 者	弘水・東弘・大伸特定建設工事共同企業体		
監 理 技 術 者	株式会社弘前水道	阿保	美鈴
監 理 技 術 者	東弘電機株式会社	加藤	陽一
監 理 技 術 者	株式会社大伸管工業所	木村	潤哉

- ・ 工 事 期 間 令和3年6月30日 ～ 令和4年12月28日
- ・ 請 負 金 額 568,590,000 円
- ・ 工 事 内 容

弘前文化センターは、昭和56年の開館以来40年近く経過し、施設・設備の老朽化が進行していたことから、令和元年11月に策定・公表した弘前市文化施設個別施設計画に基づき、老朽化が著しい電気設備、空調設備、給排水設備の更新を行ったものです。

また、バリアフリーに配慮した施設とすることで、使用するすべての人が快適で安全に利用することができる施設を目指す「①快適性及び安全性の向上」、高効率な機器への更新や使用する燃料の見直し、照明器具のLED化などによりエネルギー使用量を減らし、環境負荷の低減を図る「②環境負荷の低減」、文化芸術や生涯学習、地域活動などの各分野においてニーズが多様化していることから、各部屋の配置や機能を見直し再配置することで、市民の活動ニーズに広く応えられる施設を目指す「③市民の多様な活動ニーズへの対応」を整備の基本方針として長寿命化改修を実施したものです。

### 【機械設備工事概要】

- ① 多機能トイレの新設 (3階) 及び改修 (1・2階) ・各種機器の更新
- ② 高効率な機器への更新 (冷温水発生機→ヒートポンプチラー)
- ③ 各階トイレの便器洋式化及び洗面・小便器への自動水栓設置

### 【機械設備工事内容】

・ 空気調和設備改修	1 式	・ 給水設備改修	1 式
・ 換気設備改修	1 式	・ 排水設備改修	1 式
・ 排煙設備改修	1 式	・ 給湯設備改修	1 式
・ 自動制御設備改修	1 式	・ 消火設備改修	1 式
・ 衛生器具設備改修	1 式	・ ガス設備改修	1 式

### 案内図



着工前（3階調理実習室）



完成（3階調理実習室）



着工前（屋上階）



完成（屋上階）



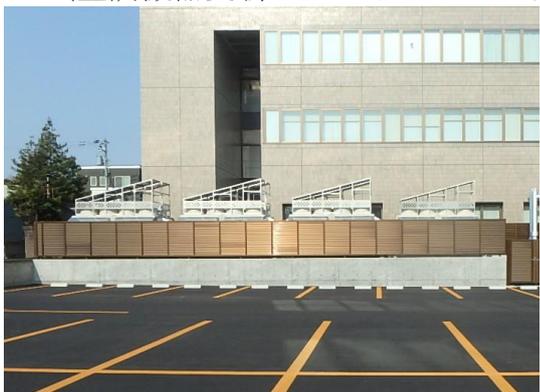
①快適性及び安全性の向上  
（2階多機能トイレ改修）



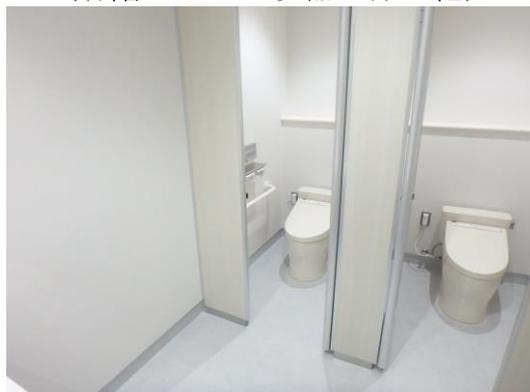
①快適性及び安全性の向上  
（各種機器の更新：1階機械室）



②環境負荷の低減  
（空調機器更新：ヒートポンプチャラー）



③市民の多様なニーズへの対応  
（各階トイレ：便器の洋式化）



担当：建築住宅課設備係  
葛西 華子（内線932）

## 上下水道部門

<b>工事名称</b>	令和3年度 老朽管更新事業 新町外地区配水管布設替工事
<b>工事場所</b>	弘前市大字 新町外 地内
<b>受注者</b>	東弘電機 株式会社
<b>主任技術者</b>	木村 利喜夫

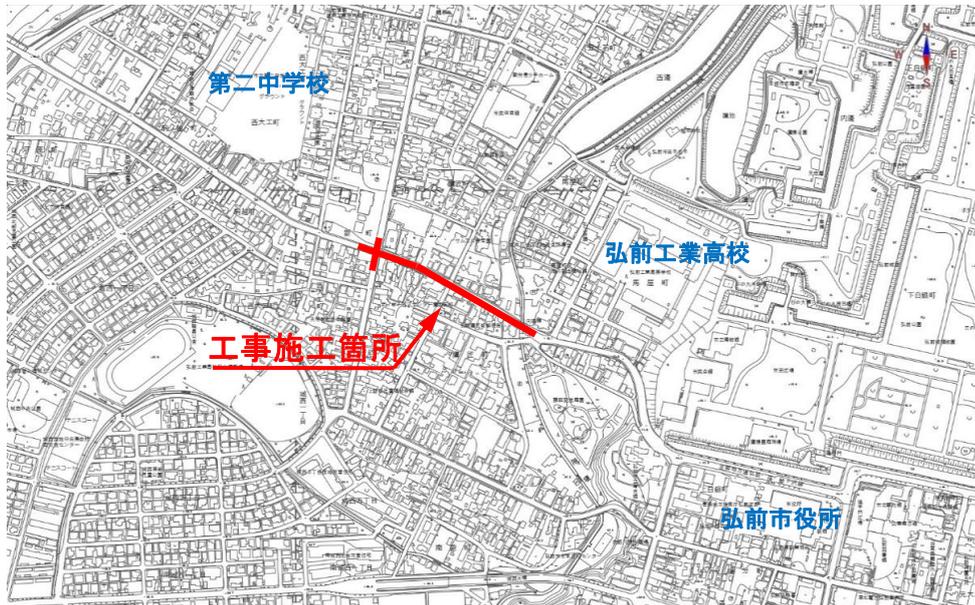
- ・ 工事期間 令和3年10月5日 ～ 令和4年5月20日
- ・ 請負金額 109,901,000円
- ・ 工事内容

布設後50年を超える老朽化した水道管を耐震管へ布設替えした工事であり、周辺地域や災害時の重要拠点施設(第二中学校)への安定的な水道水の供給を確保するとともに、管路の長寿命化を図ったものである。

- ・ 工 種
 

配水管布設工	ダクタイル鋳鉄管		
NS形 φ500	工事延長 L=59.0m	布設延長 L=59.8m	
GX形 φ150	工事延長 L=249.0m	布設延長 L=249.5m	
GX形 φ75	工事延長 L=51.7m	布設延長 L=52.0m	
既設管接続工	N= 3箇所	排水管設置工	N= 1箇所
消火栓設置工	N= 2箇所	給水管切替工	N= 30箇所
既設管止水工	N= 1箇所		

位置図



着工前



完成



铸铁管布設状況



铸铁管吊り込み状況



不断水バルブ設置状況

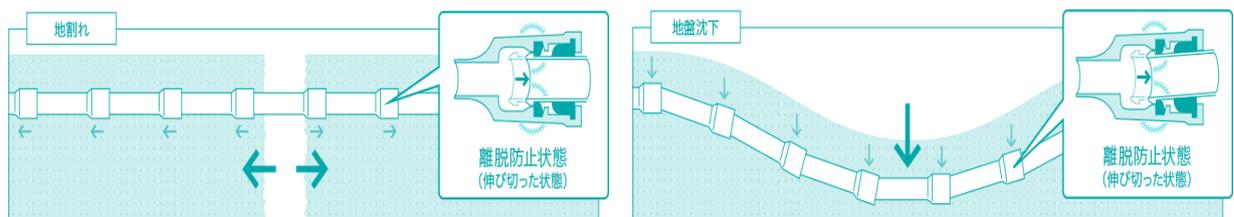


ソフトシール仕切弁接合状況



耐震継手ダクタイトイル铸铁管

管と管の継手部分に一定のすきまを設けることで継手部分を伸縮・屈曲させ、継手の可動域以上に管が動く場合には抜け止め構造が働く離脱防止機能。



出典：株式会社 クボタ

担当：工務課 上水道建設係  
嶋村 道 (内線 7 2 5)

## 土 木 ・ 舗 装 部 門

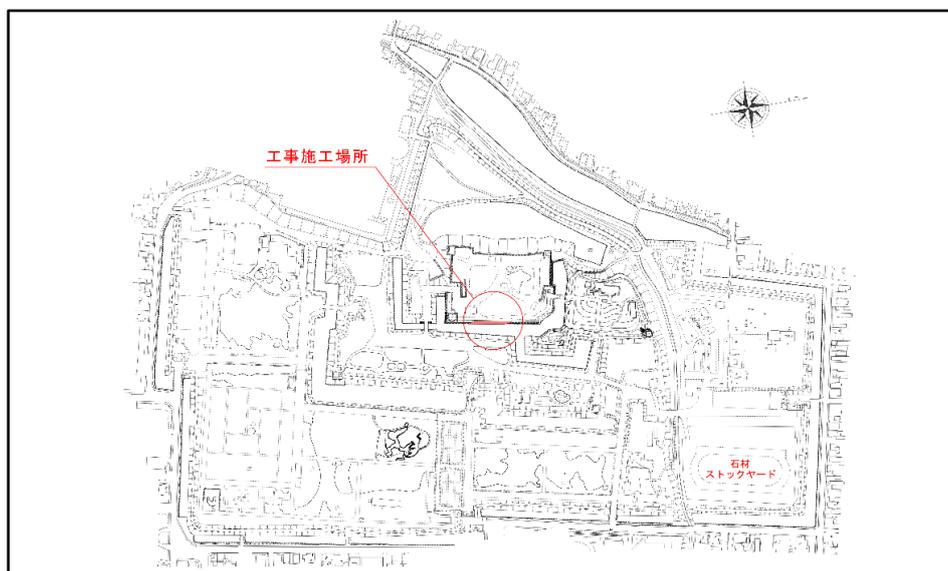
<b>工 事 名 称</b>	令和2年度 史跡弘前城跡本丸石垣東面(北側)積直し工事
<b>工 事 場 所</b>	弘前市大字 下白銀町 地内
<b>受 注 者</b>	大林・南・嶽開発 特定建設工事共同企業体
<b>監 理 技 術 者</b>	株式会社南建設 沼田 修
<b>主 任 技 術 者</b>	嶽開発株式会社 川村 毅

- ・ 工 事 期 間            令和2年9月26日 ～ 令和5年3月20日
- ・ 請 負 金 額            495,033,000 円
- ・ 工 事 内 容

本工事は、史跡弘前城跡本丸東面の石垣に生じた孕みを修復するために解体した範囲のうち、北側工区における各遺構の保存復旧及び石垣の積直しを行ったものである。

・ 工	種		
	石垣復旧面積	A=367.0m <sup>2</sup>	石垣修復準備工            N= 1式
	石垣解体工	A= 5.8m <sup>2</sup>	石材ストックヤード整備工    N= 1式
	新補石材調達工	N= 1式	石垣修復工                N= 1式
	井戸遺構復旧工	N= 1式	排水石積遺構復旧工    N= 1式
	湧水箇所排水対策工	N= 1式	仮設工                      N= 1式
	石垣記録工	N= 1式	

位置図



着工前



完 成



石垣修復準備工



新補石材調達工



石垣修復工



石垣修復工



井戸遺構復旧工



排水石積遺構復旧工



湧水箇所排水対策工



湧水箇所排水対策工



担当：公園緑地課 弘前城整備活用推進室  
関 剣太郎 (内線500)

## 土 木 ・ 舗 装 部 門

<b>工 事 名 称</b>	令和3年度 常盤野1号線道路改良工事
<b>工 事 場 所</b>	弘前市大字 常盤野 地内
<b>受 注 者</b>	株式会社 前山組
<b>主 任 技 術 者</b>	對馬 大輔

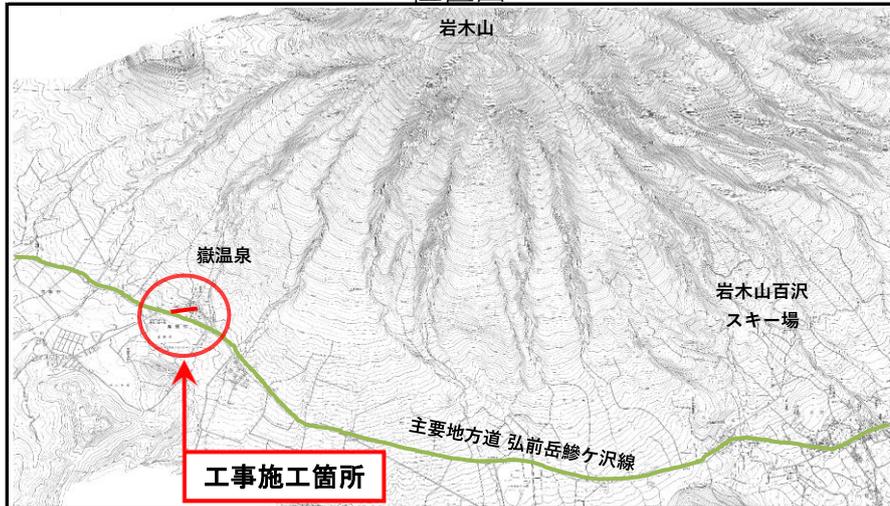
- ・ 工 事 期 間      令和4年9月17日    ~    令和5年3月27日
- ・ 請 負 金 額      53,658,000 円
- ・ 工 事 内 容

本路線は、主要地方道弘前岳鱒ヶ沢線から当市の主要観光施設である嶽温泉へアクセスするバス路線ですが、道路幅員が狭隘で、車両の通行に支障をきたしていたことから、道路拡幅を行うことで、車両交通の円滑化を図るものです。また、本路線には嶽温泉からの排湯が流入していることから、道路側溝にコーティングを塗布し、温泉成分への対策を実施しています。事業期間は平成30年度から令和5年度までを予定しており、現在の進捗率は80%となっています。

- ・ 工 種

施工延長 L=289.5m    車道幅員 W=5.5m  
 地盤改良工            V=208.4m<sup>3</sup>  
 排水構造物工        U型側溝 L=300.8m、集水柵 N=3基  
 舗装工                 A=535.2m<sup>2</sup>

位置図



令和3年度着工前（嶽温泉側）



令和4年度完成（嶽温泉側）



令和3年度着工前（県道側）



令和4年度完成（県道側）



地盤改良施工状況



道路側溝施工状況



路盤施工状況（県道側）



アスファルト舗装施工状況（嶽温泉側）



担当：土木課新設係  
成田 泰斗（内線424）

## 土木・舗装 部 門

<b>工 事 名 称</b>	令和3年度 鷹揚公園春陽橋高欄等更新工事
<b>工 事 場 所</b>	弘前市大字下白銀町地内
<b>受 注 者</b>	猪股建設 株式会社
<b>主 任 技 術 者</b>	大高 憲記

- ・ 工 事 期 間            令和4年8月10日 ～ 平成5年2月25日
- ・ 請 負 金 額            48,499,000円
- ・ 工 事 内 容

本工事は、公園施設の長寿命化を目的として、老朽化した春陽橋の高欄および床板等の木材部を更新し、鋼製の橋脚、桁、床版等の塗り替えを行ったものである。

- ・ 工 種
- |          |          |            |      |
|----------|----------|------------|------|
| 木橋改修工（橋長 | L=29.28m | 幅員W=3.10m） |      |
| 木材部更新工   | N=1式     | 橋脚・梁塗替工    | N=1式 |
| 木材保護工    | N=1式     | 舗装工        | N=1式 |
| 上部工塗替工   | N=1式     | 撤去工        | N=1式 |

位置図



着工前



完 成



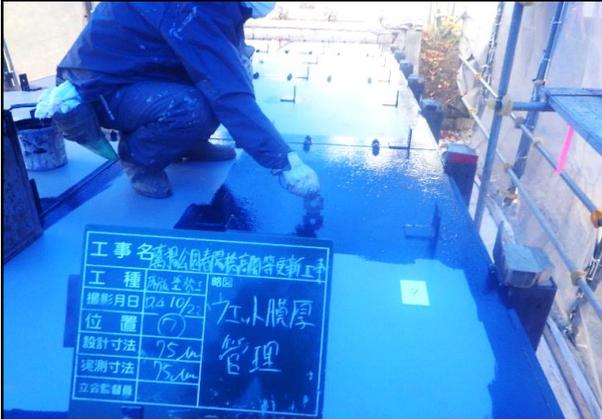
高欄撤去工



床板撤去 (床版)



上部工 (床版) 塗装工



束柱設置工



撤去廃材



(参考) 廃材利活用 / 工業高校へ廃材持込



(参考) 廃材利活用 / スマホスタンド製作状況 (参考) 廃材利活用 / ふるさと納税寄附者へ進呈



担当：公園緑地課事業係  
丸居 和 (内線500)

## 土 木 ・ 舗 装 部 門

工 事 名 称	令和4年度 高野橋橋梁補修工事
工 事 場 所	弘前市大字 国吉外 地内
受 注 者	佐藤惣・東洋重機建設工事共同企業体
監 理 技 術 者	株式会社佐藤惣建設 木村 照之
主 任 技 術 者	東洋重機建設有限公司 町田 英已

- ・ 工 事 期 間 令和4年8月9日 ～ 令和5年3月24日
- ・ 請 負 金 額 109,021,000 円
- ・ 工 事 内 容

弘前市では、高度経済成長期以降に集中的に供用された橋が多いため、多額の事業費を要することが想定されます。そのため“弘前市橋梁長寿命化修繕計画”に基づき、本工事は、主要地方道 岩崎西目屋弘前線と高野地区を繋ぐ路線に架橋された高野橋について、橋の塗装塗替え等の補修工事を行い、高野橋を長寿命化し今後の維持管理費用の縮減を図ったものです。

- ・ 工 種
 

橋長 L=70.3m	幅員 W=9.25m
塗装塗替え	A=1,939.9m <sup>2</sup>
支承防錆工	N=6基
排水管取替え	N=4箇所
伸縮装置取替え	N=3箇所

位置図



着工前



完 成



橋梁足場工 吊足場設置状況



橋梁足場工 設置完了



橋梁塗装工 着工前



橋梁塗装工 ブラスト状況



橋梁塗装工 ブラスト分離回収タンク



橋梁塗装工 完了



担当：土木課改良係  
 芦田 由一（内線413）

## 上下水道部門

工事名称	令和3年度 水道施設整備事業 桶屋町区配水管布設替工事（ゼロ市債）
工事場所	弘前市大字 桶屋町 地内
受注者	興産設備工業 株式会社
主任技術者	菊池 智

- ・ 工事期間 令和4年3月17日 ～ 令和4年9月30日
- ・ 請負金額 38,984,000 円
- ・ 工事内容

布設後50年を超える老朽化した水道管を耐震管へ布設替えした工事であり、周辺地域や災害時の重要拠点施設(弘前大学医学部附属病院)への安定的な水道水の供給を確保するとともに、管路の長寿命化を図ったものである。

- ・ 工種
  - 配水管布設工 ダクティル鋳鉄管  
GX形 φ300 工事延長 L=60.4m 布設延長 L=61.2m
  - 消火栓設置工 N=1箇所
  - 給水管切替工 N=9箇所

位置図



着工前



完成



铸铁管布設状況



铸铁管接合状況



新設铸铁管洗管状況

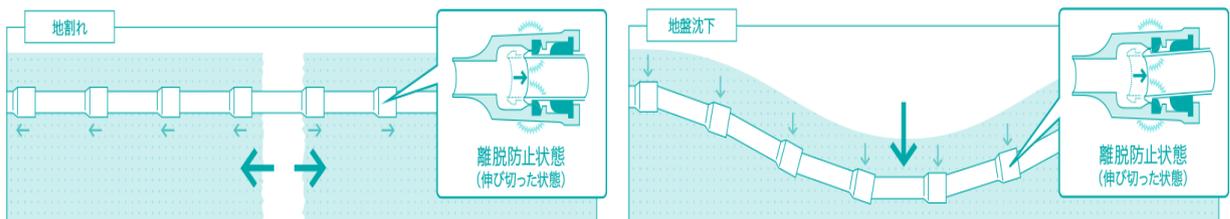


ロードヒーティング復旧状況



耐震継手ダクタイトイル铸铁管

管と管の継手部分に一定のすきまを設けることで継手部分を伸縮・屈曲させ、継手の可動域以上に管が動く場合には抜け止め構造が働く離脱防止機能。



出典：株式会社 クボタ

担当：工務課 上水道建設係  
安田 直充 (内線 7 2 6)